

I 施設の概要

施設名	教育センター				
所在地	荒川三丁目49番1号				
所管部署	指導室				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
	建築	1970年	国・都	区債	一般財源
	増改築①	1996年	303,300		
	増改築②				
竣工年月日	昭和45年4月3日		常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日	平成9年7月1日		職員数	20	12
構造	RC造		階層	地上4階	
面積	敷地面積		6,766.09㎡		
	延床面積		1560.01㎡ (4530.36㎡のうち)		
設置目的・経緯	荒川区における教育の充実及び振興を図るため				
関連部署	地域文化スポーツ部生涯学習課				
根拠法令等 設置条例	荒川区立教育センター条例				
駐車場の状況	1台	バリアフリー	● エレベーター	● だれでもトイレ	
駐輪場の状況	14台	対応状況	○ 点字ブロック	● スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	直営	施設管理は生涯学習センターの指定管理者が行っている。	期間	-	から	
				-	まで	
事業内容	教育相談、適応指導教室運営、科学教育等					
対象者	幼児、小中学生及び保護者等					
運営時間等	運営時間	午前9時～午後5時				
	休日	土曜日、日曜日、祝日、年末年始				
利用者数等		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度(見込み)
	適応指導教室入室者数(人)	20	16	27	24	6
	科学教育センター参加者数(人)	60	60	75	70	74
その他		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度(見込み)
	教育相談件数(件)	17,149	14,197	17,402	20,486	20,000

III 財務諸表

(単位:千円)

	勘定科目			H27年度	H28年度	差額	勘定科目			H27年度	H28年度	差額
	H27年度	H28年度	差額				H27年度	H28年度	差額			
行政コスト計算書	給与関係費	-	149,591	-	地方税等	-	0	-				
	物件費	-	14,666	-	国庫支出金	-	0	-				
	維持補修費	-	0	-	都支出金	-	6,494	-				
	扶助費	-	0	-	分担金及び負担金	-	0	-				
	補助費等	-	2,231	-	使用料及び手数料	-	0	-				
	減価償却費	-	0	-	その他	-	0	-				
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	-	0	-	行政収入合計(a)	-	6,494	-				
	賞与・退職給与引当金繰入額	-	2,746	-	行政収支差額(a)-(b)=(c)	-	▲162,740	-				
	その他行政費用	-	0	-	金融収支差額(d)	-	0	-				
	行政費用合計(b)	-	169,234	-	通常収支差額(c)+(d)=(e)	-	▲162,740	-				
特別費用(g)	-	0	-	特別収入(f)	-	0	-					
特別収支差額(f)-(g)=(h)	-	0	-	当期収支差額(e)+(h)	-	▲162,740	-					
貸借対照表	勘定科目			H27年度	H28年度	差額	勘定科目			H27年度	H28年度	差額
	流動資産						流動負債					
	収入未済	-	0	-	還付未済金	-	0	-				
	不納欠損引当金	-	0	-	特別区債	-	0	-				
	その他の流動資産	-	0	-	賞与引当金	-	2,746	-				
	有形固定資産	-	0	-	その他の流動負債	-	0	-				
	土地	-	0	-	固定負債	-	12,781	-				
	建物	-	113,811	-	特別区債	-	0	-				
	建物減価償却累計額	-	▲113,811	-	退職給与引当金	-	12,781	-				
	工作物等	-	0	-	その他の固定負債	-	0	-				
工作物等減価償却累計額	-	0	-	負債の部合計	-	15,527	-					
無形固定資産	-	0	-	正味財産	-	▲15,527	-					
建設仮勘定	-	0	-	正味財産の部合計	-	▲15,527	-					
その他の固定資産	-	0	-	負債及び正味財産の部合計	-	0	-					
資産の部合計	-	0	-									

備考 相談員等の人件費が行政費用の大半を占めているが、このうちの一部が都から行政収入として補助を受けている。

指標		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	-	-	-	100.0	-
	1㎡当たりコスト(円)	-	-	-	108,482	-
	相談一件当たりのコスト(円)	-	-	-	8,261	-
	相談員1人当たりの相談件数(件)	1,143	946	1,087	1,280	1,176
	指定管理料(千円)	-	-	-	7,628	-
	※生涯学習センターとの複合施設の為、 教育センター負担分として支出					

#### IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名: )					
目標指標	指標名・単位	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度(見込み)
	教育相談件数	目標値 15,230	17,150	14,200	14,000	20,000
		実績値 14,503	14,197	17,402	20,486	20,000
施設運営の方向性	<input type="radio"/> 転用・多目的化 <input type="radio"/> 民営化 <input type="radio"/> 他施設との統合 <input type="radio"/> 廃止 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> その他( )					
管理形態の変更の推移	<input type="radio"/> 有 (変更内容: ) <input checked="" type="radio"/> 無					
現状・課題	<p>○老朽化した設備等の計画的な修繕等が必要である。</p> <p>○適応指導教室では、通室児童・生徒の実態に応じた指導を通じて、在籍校への早期復帰に向けた取組が必要である。</p>					
課題に対する現時点での考え	<p>○生涯学習センター・教育センター複合施設の管理業務は生涯学習センターが担当しているため、生涯学習センターで検討された計画に併せ、施設の整備等を実施していく。</p> <p>○心理専門員が学校を訪問し、児童・生徒の情報交換を行うとともに、実態に応じてきめ細かく指導する。また校外学習等を通じて、学校への復帰に向けた工夫を実施していく。</p>					
議会、利用者等からの意見						

